

90.11.26 No.3314



## 日刊労千葉

お父さんと共に  
反戦・平和、生活と婦人の  
権利の向上へ奮闘を誓う

多数の来賓の参加を得て、活発な討論のなかで、新たな第一歩を歩みだした第四回家族会総会。

家族会は、十一月十八日、第四回総会を千葉市社会センターにおいて成功裡にかちとり、運動方針、役員体制を確立し、家庭会の発展をめざし奮闘することを誓った。総会には、館山、勝浦の遠方支部の家族・組合員をはじめとして二十八名が出席し、元気よくしゃぎまわる子供たちに囲まれながらも真剣にビデオリ稚内・国鉄労働者の闘いの観賞、来賓の挨拶、役員からの方針の提起に聞きいっていた。

林さんは、「天皇問題や自衛隊の派兵問題が政治の前面に出てきているように世の中は大変な激動にはいつています。女性の力で戦争を阻止し平和な社会をつくるためお父さんと共に頑張りますよう。今後も頑張ります」と決意を語った。

林さんをはじめ解任された役員の皆さん、永い間御苦労さまでした。その後、多忙の中駆け付けてくれた「三里塚」反対同盟婦人行動隊長の郡司さん、弁護士の清田のり子さん、婦人民主クラブ全国協議会千葉支部

家族会は、親組合と連携をふかめ、その前だて後ろだてとなつて頑張ることを確認し三つの課題①目標を決定した。

①会員の親睦を図るために取り組みを強める。  
②全国の心ある人びと連帯し、解雇された仲間、強制配転者の現職復帰を勝ちとるため親組合と連携したたかう。  
③たたかう婦人との連帯・交流を深めていく。

△会長に  
佐藤正子（  
総武）  
さんを選出

45名の被解雇者を守りぬく  
動労千葉'90年冬販売!!

12月  
組合員一人  
貢献金  
2万円。

いっぱいですが皆さんのがんばります。よろしくお願いします。」と訴えられた。

御支援をいただきながら全組合員は、家族会と共にがんばろう。



全支部のトップをきって開催された支部大会は反動区長土岐を許さず、3月ダイ改合理化阻止、業務移管粉碎へ、全力で闘うこと確認。詳細は前号に掲載。

千葉運輸区支部

定期大会成功する

最初に、四年間会長を務められ今回後人に道をゆづることになった林会長から挨拶をうけた。

林さんは、日本婦人会議千葉県本部から寄せられたメッセージが紹介され大きな拍手で連帯を確認した。

皆さん有難うございました。

の並木さん、船橋市議中江さんから心のこもった連帯の挨拶をうけた。

又、北富士忍草母の会